

8/8
(月)

水道施設解体ボランティア 地域と支え合いながら

8月8日、鹿児島県解体工事業協会出水支部が、平尾の萩之牟礼地区にある水道施設の解体ボランティアを行いました。

当日は同協会の会員や地元公民館長など9人が参加。作業は車両や重機を使用して行われ、解体後の廃棄物は小畑建設(蔵之元)が無償でリサイクルしました。

萩之牟礼の井手道夫自治公民館長は「地元からの要望が叶ってうれしい。安全に作業を進めてもらえたら」と話しました。

解体作業をする会員ら



同協会の鶴長親雄支部長は「会としても要望に応えることができありがたい。今後も地域と支え合いながらやっていきたい」と話しました。

8/9
(火)

日本消防協会名誉会員に決定 支えがあったからこそ

諏訪義則さん(上揚)が公益財団法人日本消防協会の名誉会員となり、8月9日、書状交付式がありました。

これは日本消防の発展に多大な貢献をされたかたが選ばれ、当日は鹿児島県消防協会の内大久保清志会長から書状と法被などの記念品が伝達されました。

諏訪さんはこれまで日本消防協会の副会長や長島町消防団初代団長を務めるなど、消防業務に多大に尽力してきました。

名誉会員決定の書状を受けた諏訪さん(写真右)



諏訪さんは「団員をはじめ、たくさんのかたの支えがあり、名誉会員になれたと思っている。今後もこれまでのつながりを生かしながら消防に貢献していきたい」と今後の抱負を話しました。

8/15
(月)

赤寄智哉さんが表敬訪問 経験生かし次のステージへ

8月15日、赤寄智哉さん(赤崎)が川添町長を表敬訪問しました。

赤寄さんは鹿児島実業高等学校野球部に所属し、8月6日から開幕した第104回全国高校野球選手権大会に鹿児島県代表として出場しました。

赤寄さんは鷹巣中学校出身。地元からの熱い応援の中、野球部のエースとして甲子園で見事な活躍を見せました。

赤寄さんは「コロナやケガなど厳しい環境の中で、最後の夏に甲子園に行けてよかった。この経験を

川添町長へ結果報告をした赤寄さん(写真右)



生かして次のステージを目指したい」と力強く語りました。